

光と緑の風通信

発行/2023年7月11日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1111(代)

看護学部のwave

～ホームページ・新卒支援・同窓会連携～



看護学部長 坂本 祐子

もう気づいていただけているでしょうか?「情報検索が難しい」「なかなか情報がupdateされない」というご意見をいただくことが多かった看護学部HPを令和5年4月にリニューアルいたしました。保護者の皆様にはお子さんの学生生活が垣間見られるような情報を、これから看護職を目指そうとする高校生・中学生の皆さんには、看護学や看護職、看護学部の教育の様相が伝わるような情報を発信していきたいと考えております。是非、定期的にHPにアクセスしていただきたいと存じます。

また、一昨年より新卒者の就業継続支援を目的とした“Home Coming Day”の年2回開催、今年度より看護学部同窓会と連携し“卒業後、何年経過しても福島県立医科大学看護学部”として卒業生の縦・横のつながりを強化していきたいと考えております。

これからも教員は、学部生、1800名余の卒業生とともに未来の看護の創造に貢献する看護学部を目指していきます。

(さかもと ゆうこ)

ニュース&トピックス

看護学部ホームページをリニューアルしました

広報委員 井上 水絵

令和5年4月1日より看護学部のホームページを全面リニューアルしました。

従来のホームページに対し「見にくい」、「わかりにくい」等のご意見を受け、受験希望者や保護者の方、そして県民の皆様に看護学部の魅力が伝わるような構成になっております。

新たなホームページは以下の2点を工夫しました。

1点目は「学部」、「研究科」、「入試情報」等のコンテンツを整理しました。これにより、閲覧者が必要な情報を入手しやすくなりました。

2点目は、最新情報やイベント情報の更新回数が増えることです。情報発信ツールとして学校生活や行事などタイムリーにお伝え出来ると考えます。また、パソコン、スマートホン、など多様なデバイスからの閲覧にも対応しています。ぜひ、インフォメーションもご注目ください。

今後も、皆様により看護学部を知っていただけるよう更なる内容の充実化、利便性の向上および、学生が豊かな学生生活が送れるよう教育・サポートをしてまいります。

(いのうえ みずえ)



<https://www.fmu.ac.jp/kango/>

転機

看護学部1年 後藤 健太



期待と不安が入り混じる中で迎えた入学式から、早1か月が経ちました。大学やサークル、アルバイトと学内外にコミュニティが広がつて、当初心が広がつて、日々を送っています。

高校までとは異なり大学では、正解がない問題に考察力と創造力で対処することもあります。先生方や同級生の様々な考え方を積極的に受け入れることで柔軟な思考力を養い、新入生84人が切磋琢磨することで、創造性豊かな看護専門職として成長していくたいです。

(ごとう けんた)

新入生からひとこと

助産師コースに進学して

大学院博士前期課程1年 白井 寿々奈



私は、博士前期課程で助産師国家試験受験資格を取得できることに魅力を感じ受験を決めました。助産師コースに進学してあつという間に2か月が経とうとしています。

(しらい すずな)

大学院看護学研究科より

成人看護領域の上杉史恵氏(左)、高橋香子看護学研究科長(中)、老年看護領域の伊藤麻樹子氏(右)



老年看護学領域の伊藤麻樹子氏、成人看護学領域の上杉史恵氏が優秀論文として表彰されました。

伊藤氏は、「中小規模病院看護職の認知症高齢者に対する看護実践とその関連要因」の実態調査で、認知症高齢患者に対する看護実践と有意に関連があつた要因を明らかにし、スタッフとの認知症看護に対する共有、多職種等との相談や連携、チームケアの促進の他、困難事例だけでなく

大学院看護学研究科 片桐 和子

成功事例や肯定的な側面を捉えられるケアカンファレンスや研究教育の機会の必要性が示唆されました。

上杉氏は、「新型コロナウイルス感染症重症患者への看護実践におけるICU看護師の体験」の質的記述的調査から、ICU看護師はウイルスの恐怖の中、医療チームと大切な家族を守り続けた思い、PPE使用で患者と隔絶され思うような看護ができない無力感がある中、支えや同志の存在の下、看護ケアを模索し患者や家族の肯定的な反応から看護ケアの手ごたえを取り戻す体験を明らかにし、ICU看護師が安心して看護ケアを継続できる方法やサポートの必要性が示唆されました。

両氏とも、臨床に根づいた研究で真摯に取り組んだ結果が優秀論文として評され、達成感いっぱいの笑顔での写真撮影となりました。寒装への礎となる異なる研究に発展することを期待して…。

(かたぎり かずこ)

2名が博士前期課程 優秀論文として表彰!!

看護学部教員紹介 ③



看護学部には約50名の教員がいます。
その教員をシリーズで紹介いたします。
第3回目は「基礎看護学部門」の教員の紹介です。



【基礎看護学部門】

基礎看護学部門には、基礎看護学分野と看護管理学分野があり、あらゆる看護実践に必要とされる能力に関する教育および研究を専門としています。令和5年度から大学院生2名を迎え、明るく前向きに頑張っている、我ら庶民の集まりです。



黒田 るみ

どんな状況にあっても、人がほっとする時間を提供できる看護師でありたいと思います。



丸山 育子

看護を共に学び、特に福島県における慢性疾患の方の看護の構築に力を注いでいきたい。



川島 理恵

その人の「あたりまえ」が「いつも通り」行えるような支援を大切にしたいです。



林 紋美

看護の奥深さを学生さんに伝えられるよう、教育に研究に努力して参ります。



蓬田 美保

学生さんと「看護とは何か」について、共に学び、考え、成長できるように頑張ります。



石井和華子

尊厳を守り個人を支援するということを考え、学生さんと共に看護を深めていきたいです。

令和4年度 卒業生の国家試験の結果と進路

令和4年度 保健師・助産師・看護師国家試験の合格状況

令和5年3月24日現在

令和4年度の国家試験の合格状況は、
保健師・助産師・看護師とともに、全国平均
合格率を上回る結果となりました。



■ 保健師

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受験者(人)	42	83	83	80	79
合格者(人)	41	78	83	78	65
合格率(%)	97.6	94.0	98.8	97.5	82.3
全国合格率(%)	96.8	93.0	97.4	96.3	88.1

■ 助産師

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受験者(人)	5	5	5	6	6
合格者(人)	5	5	5	6	6
合格率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全国合格率(%)	95.9	99.7	99.7	99.5	99.9

■ 看護師

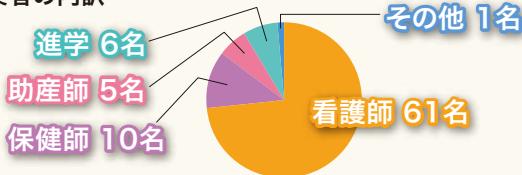
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
受験者(人)	84	83	84	80	79
合格者(人)	82	82	83	79	78
合格率(%)	97.6	98.8	98.8	98.8	98.7
全国合格率(%)	95.5	96.5	95.4	94.7	94.7

令和4年度 看護学部卒業生の進路状況

令和5年3月31日現在

令和4年度の看護学部卒業生の主な就職先は、福島県内51名、福島県外26名で、就職した学生のうち66.2%が
県内に就職しました。また、福島県内に就職した学生のうち37名が本学附属病院に就職しました。

■ 卒業者の内訳



■ 就職(県内)

就職先	職種	人数	都道府県	区分
福島県立医科大学附属病院	看護師	33	福島市	病院
福島県立医科大学附属病院	看護師・助産師	4	福島市	病院
福島県立医科大学津医療センター附属病院	看護師	1	会津若松市	病院
いわき市医療センター	看護師	1	いわき市	病院
いわき市医療センター	助産師	1	いわき市	病院
寿泉堂総合病院	看護師	2	郡山市	病院
総合南東北病院	保健師	1	郡山市	病院
福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院	看護師	1	白河市	病院
いわき市	保健師	1	いわき市	行政
郡山市	保健師	1	郡山市	行政
福島県	保健師	2	福島市	行政
ふたば医療センター附属病院	看護師	1	双葉郡富岡町	病院
福島市	保健師	2	福島市	行政
県内就職計		51		

■ 進学

進学先	人数	都道府県	区分
福島県立医科大学大学院	1	福島県	大学
福島県立医科大学別科助産学専攻	3	福島県	大学
東北大学大学院	1	宮城県	大学
山形大学	1	山形県	大学
進学計	6		

■ 就職(県外)

就職先	職種	人数	都道府県	区分
東北医科薬科大学病院	看護師	1	宮城県	病院
東北大学病院	看護師	2	宮城県	病院
宮城厚生協会	看護師	1	宮城県	病院
(株)日立製作所日立総合病院	看護師	2	茨城県	病院
筑波大学附属病院	看護師	2	茨城県	病院
自治医科大学附属病院	看護師	1	栃木県	病院
みさと健和病院	看護師	1	埼玉県	病院
行田総合病院	看護師	1	埼玉県	病院
新久喜総合病院	看護師	1	埼玉県	病院
獨協医科大学埼玉医療センター	看護師	1	埼玉県	病院
国立がん研究センター東病院	看護師	1	千葉県	病院
順天堂医学部附属浦安病院	看護師	1	千葉県	病院
千葉県立こども病院	看護師	1	千葉県	病院
国立国際医療研究センター病院	看護師	1	東京都	病院
国家公務員共済組合連合会虎の門病院	看護師	1	東京都	病院
昭和大学病院	看護師	1	東京都	病院
松沢病院	看護師	1	東京都	病院
湘南鎌倉総合病院	看護師	1	神奈川県	病院
奈良県立医科大学付属病院	看護師	1	奈良県	病院
青森県	保健師	1	青森県	行政
千葉県	保健師	1	千葉県	行政
練馬区役所	保健師	1	東京都	行政
(株)Nexus ※人材派遣会社	その他	1	神奈川県	その他
県外就職計		26		

■ その他

区分	人数
未定	1
未定計	1

多くの皆様のご協力により、「光と緑の風通信 Vol.65」を発刊できました。迎えることができました。本年度も多くの新入生を上げます。これまでの新入生を迎えることを心より御礼申し上げます。

編集作業をしている今、学内そしてグランドには学生の元気な姿として声があります。基本的に感染症対策は続いているがマスク越しにもわかる学生の笑顔は、今を楽しむを体現しているように感じます。

最近読んだ本に、人生はたったの「4000週間」限られた時間をどう使うのかをテーマにしたものがありました(オリバー・バーグマン著、高橋瑞子訳・限りある時間の使い方かんき出版)。2022年、大学という学びのではないでしょうか。ひとりひとりがかけがえのない「今を楽しむ」ことを願っています。

人生を豊かにするピントがある間との「今を楽しむ」ことに専門知識・技術を新たに学ぶ「今を楽しむ」、そして仲間との「今を楽しむ」こと。4000週間のうち200週間ほどです。看護という専門知識・技術を新たに学ぶ「今を楽しむ」ことで、仲間との「今を楽しむ」ことで、人生を豊かにするピントがあるのです。

編集長 鈴木 伸一
副編集長 鈴木 妙子
佐藤 佐々木 千佳
明子 利憲
学爾 水絵 妙子
鈴木 鈴木 鈴木
井上 鈴木 鈴木
佐々木 千佳
明子 利憲
編集委員

編集後記